

なぎなた 長刀まつり



4年ぶりの開催 8基の神輿が練り歩く

大林町・欲賀町・森川原町が当番で、神輿3基と子ども神輿5基が、小津神社～小津若宮神社(赤野井町)の往復を練り歩きました。今年は田楽踊りや長刀振りはありませんでしたが、晴天の中、一生懸命に神輿を担ぐ子どもたちの笑顔や、「よいさー」「ほいさー」と威勢のいい掛け声が響き、地域が4年ぶりの祭りに沸きました。

5月5日 | 小津神社(杉江町) ほか

ヨシに触れ、びわ湖を感じよう



ヨシの魅力を伝える 市内で初めてのイベント

家族連れなど約60人が参加しました。会場ではヨシを活用した作品やヨシペンで描いた絵画などが展示されたほか、よし作りやヨシ笛体験、ヨシを活用した壁飾り作りなどのワークショップ、ヨシ笛のミニ演奏会が行われ、参加者は澄んだ音色に聴き入ったり、作品を作ったり、思い思いに楽しんでいました。

4月30日 | 市民交流センター

豊年踊り



華やかな衣装でにぎやかに 4年ぶりの奉納に喜び

馬路石邊神社の伝統行事「豊年踊り」(市文化財)が、4年ぶりに開催されました。御旅所(市役所裏の駐車場)では掛け声や笛、太鼓の音を聞いて駆けつけた市民たちが見守る中、巫女舞や豊年踊りが奉納されました。華やかな衣装の音頭取りや踊り子たちは、御旅所～馬路磯邊神社の道中の辻々で豊年踊りを披露しました。

5月5日 | 馬路石邊神社(吉身4) ほか

すし切りまつり



息を合わせた古式の包丁式 約60年ぶりに長刀踊りも復活

5月5日、下新川神社で伝統の「すし切りまつり」が営まれました。今年のすし切り大役は丈達 一嘉さんと若松 尚輝さん。息を合わせた所作でふなずしを切り分け、奉納しました。ユネスコ無形文化遺産に登録された「風流踊り」として面や衣装が新調されたかんの舞、約60年ぶりの長刀踊り披露など、伝統の継承の励みとなる祭礼を観客が見守りました。

5月5日 | 下新川神社(幸津川町)



守山市の人口

令和5年4月30日現在
(前月比)

人口	85,655	(- 20)
男	42,140	(+ 1)
女	43,515	(- 21)
世帯数	34,678	(+ 54)

5月、BS よしもとで放送の、隣町が地域自慢のプレゼン対決する」となりマツチというコーナーに守山市が出演した。3つのテーマ選定の時点で、自慢したいものが次々と出てきた▼守山に生まれ、育ち、仕事も家庭も守山の私だが、市役所に入庁するまでは、いつか守山を出ていこうと思っていた。琵琶湖やきれいな川があること、おいしいお米や果物、スイーツがあること、教育施設や医療施設が充実していること、あるのが当たり前だと思っていた▼市役所に入庁し、たくさんの人々に出会い、そういう人々の思いが私の当たり前を作っていてくれたことに気がついた。放送では語りつくせないわがまち自慢の中から、結局何を自慢何のテーマで対決したのか、勝負の結果は、YouTubeで配信なので、ご覧いただければうれしいです。

